

太陽光パネル下でのセンリョウプランター栽培現地検討会を開催しました

令和7年1月15日（水）、千両生産性向上協議会（事務局：（株）ミゾグチファーム（神栖市））による現地検討会が実施されました。協議会では昨年度から病害や竹す資材高騰への対策として、太陽光パネル下でのセンリョウのプランター栽培試験に取り組んでいます。当日は協議会員（生産者5名、電気設備工事業者、神栖市、鹿島地帯特産指導所、普及センター）が、試験圃場のセンリョウの生育や品質について意見交換を行いました。

参加者からは「プランターを置く位置や向きによっては乾燥が原因の生理障害が見られる」「太陽の直達光が当たる範囲について事前に対策を行うことで、生育が順調に進むと思う」といった感想が聞かれました。

普及センターでは、今後もセンリョウの安定生産と経営体の経営発展に向けて支援します。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



太陽光パネル下の栽培試験ほ場での検討の様子
（手前にセンリョウのプランター）